

令和6年度

【第3回：市政モニターアンケート】

調査結果報告書



船 橋 市

市長公室 市民の声を聞く課

1. 調査の目的

この調査は船橋市の「男女共同参画推進」「キャッシュレス決済」「課税（非課税）証明書のコンビニ交付サービス」「スポーツ活動」「水環境」について、広く市民の方々の意識や要望等をお伺いし、市民のニーズを把握、分析することにより、今後の施策に反映することを目的としています。

2. 調査方法

- 調査区域 船橋市全域
- モニター数 318人
- 調査期間 令和6年12月17日（火）～ 令和7年1月6日（月）
- 調査対象者 市政モニター
- 実施方法 郵送配付／郵送・インターネット回収

3. アンケートの回収結果

- モニター数 318人
- 有効回収数 282人（有効回答率 88.7%）

4. 集計にあたって

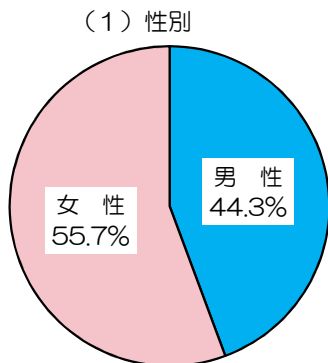
調査結果の数値は、原則として回答率（%）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%を上下する場合があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問（複数回答）では、回答率は100.0%を上回る場合があります。

- 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- 文中の〈n〉「有効回答者数」、〈SA〉「単数回答」、〈MA〉「複数回答」を表わしています。

5. 回答者のプロフィール

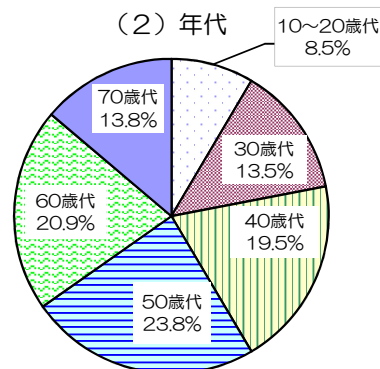
（1）性別 n=282人

性別	回答数	構成比（%）
男性	125人	44.3%
女性	157人	55.7%



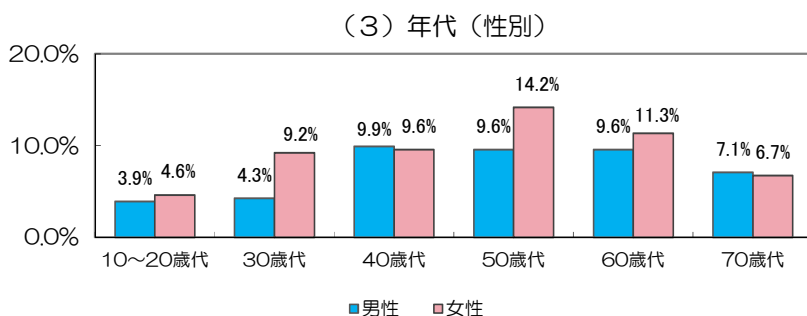
（2）年代 n=282人

年代	回答数	構成比（%）
10～20歳代	24人	8.5%
30歳代	38人	13.5%
40歳代	55人	19.5%
50歳代	67人	23.8%
60歳代	59人	20.9%
70歳代	39人	13.8%



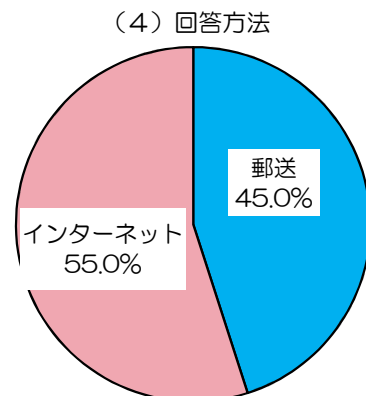
（3）年代（性別） n=282人

	回答数		構成比（%）	
	男性（人）	女性（人）	男性	女性
10～20歳代	11人	13人	3.9%	4.6%
30歳代	12人	26人	4.3%	9.2%
40歳代	28人	27人	9.9%	9.6%
50歳代	27人	40人	9.6%	14.2%
60歳代	27人	32人	9.6%	11.3%
70歳代	20人	19人	7.1%	6.7%



（4）回答方法 n=282人

回答方法	回答数	構成比（%）
郵送	127人	45.0%
インターネット	155人	55.0%

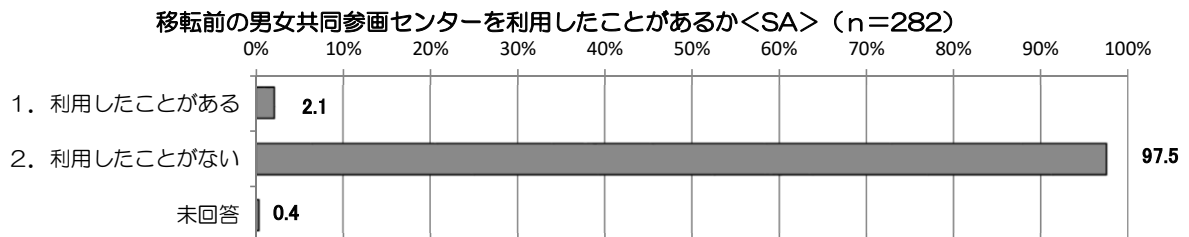


6. 調査結果

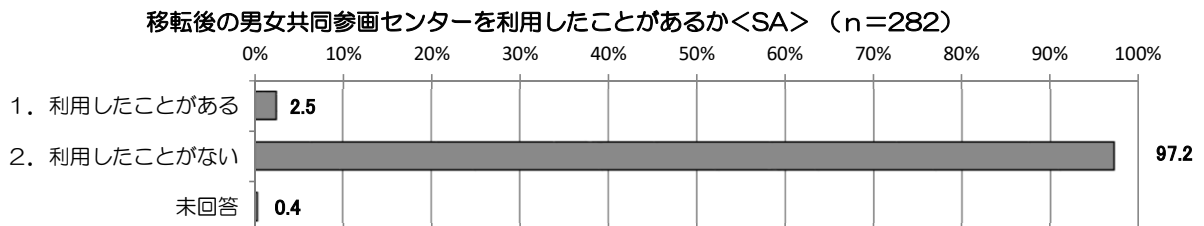
【男女共同参画推進】

【問1】男女共同参画の推進拠点である「男女共同参画センター」は、令和元年11月に船橋駅前フェイスビル5階に移転しました。移転前と後に、「男女共同参画センター」を利用したことはありますか。（それぞれ1つ選択）

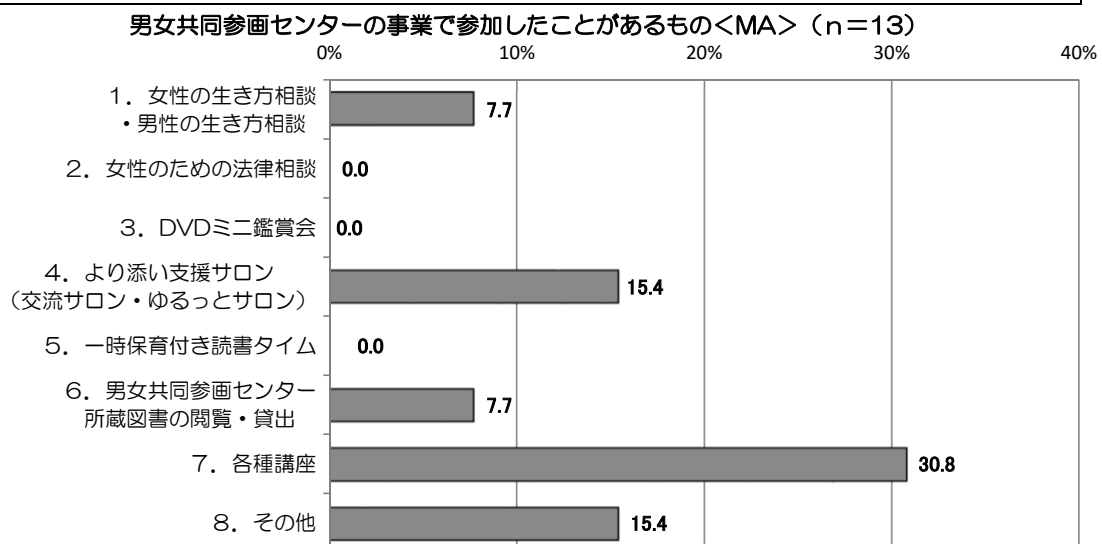
①移転前（宮本2丁目 船橋スカイビル）



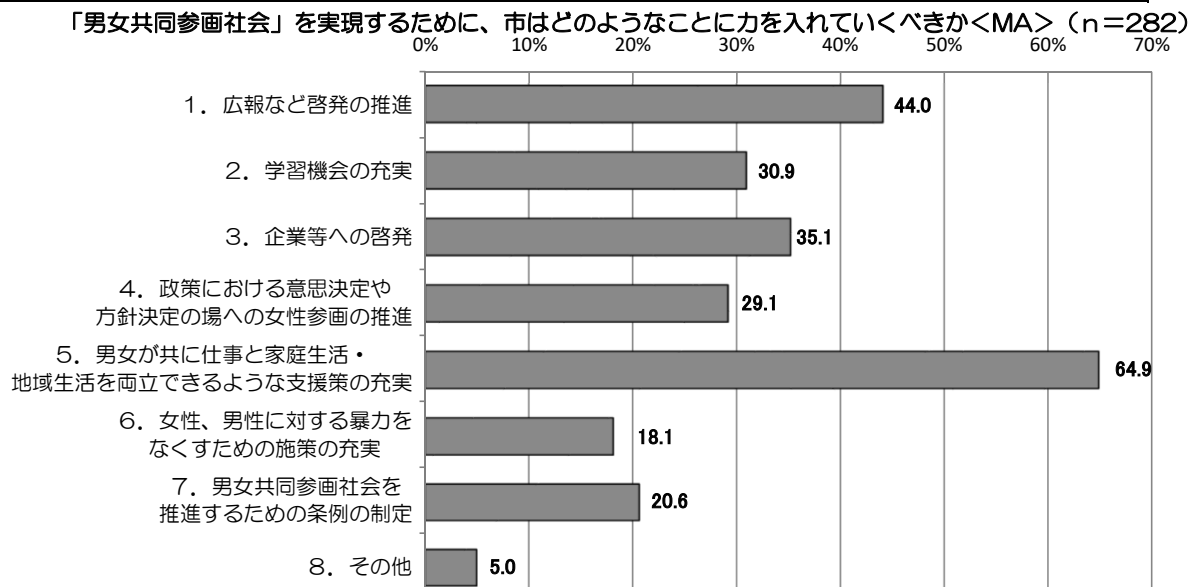
②移転後（船橋駅前フェイスビル5階）



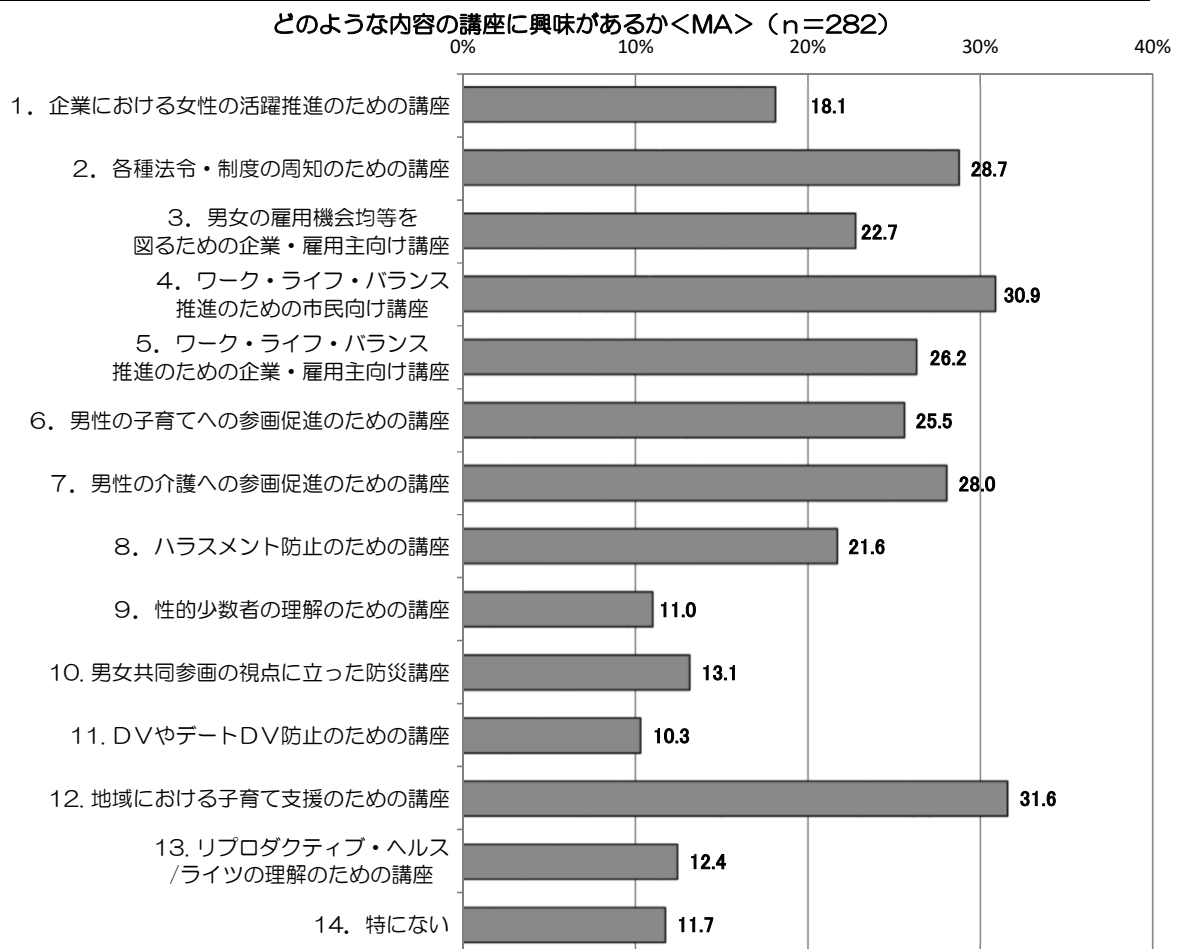
（問1で移転前と後に、「男女共同参画センター」を「1. 利用したことがある」と回答した方）
【問2】男女共同参画センターの事業で参加（利用）したことがあるものを全て選んでください。（複数回答可）



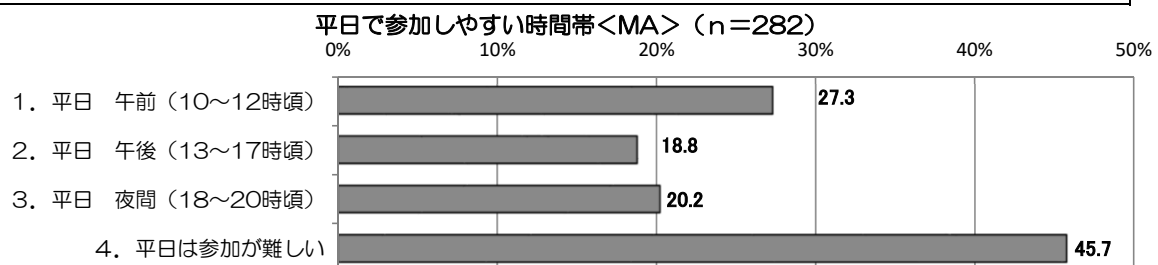
【問3】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答可）



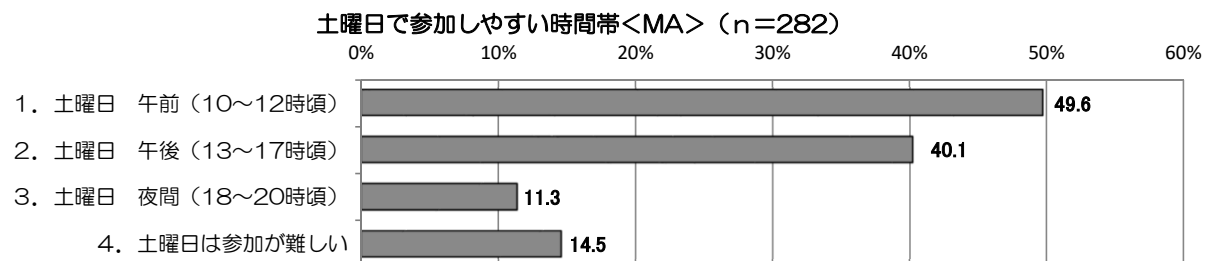
【問4】男女共同参画の推進のために様々な講座やイベントを実施しています。どのような内容の講座に興味がありますか。参加したいと思う講座をお選びください。（複数選択可）



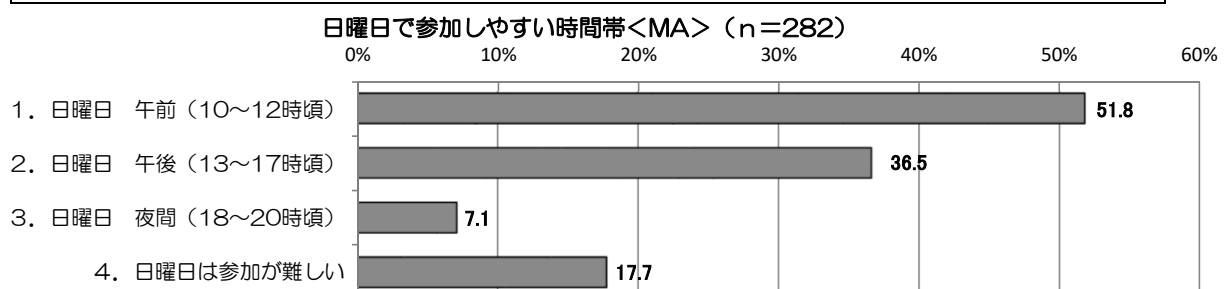
【問5-1】講座に参加する場合、平日で参加しやすい時間帯をお選びください。（複数回答可）



【問5-2】講座に参加する場合、土曜日で参加しやすい時間帯をお選びください。（複数回答可）



【問5-3】講座に参加する場合、日曜日で参加しやすい時間帯をお選びください。（複数回答可）



【1. 各設問の「その他」の意見等】

問2. 「8. その他」（男女共同参画センターの事業で参加したことがあるもの）

2件

内 容	年代
ボランティアの登録だったと思う	50歳代
展示の閲覧、図書の閲覧	60歳代

問3. 「8. その他」（「男女共同参画社会」を実現するために、市はどのようなことに力を入れていくべきか）

14件

内 容	年代
年齢、性別問わず多くの人に生理や婦人科疾患の情報を広める	10～20歳代
不妊治療のための支援（金銭面や仕事面で）	30歳代
主に男性に対する啓蒙活動、給料の差を無くす	40歳代
市議会議員を男性と女性、同じ人数にする	50歳代
学校でのカリキュラム導入と教育	50歳代
性別言及する必要がありますか？恋愛感情以外で男だから女だから意識したこと無いですが	40歳代
希望した人が希望した道に進めるよう相談窓口などを設置するだけで十分だと思う。無理に比率を合わせるべきではない	50歳代
制度・組織ではなく、対象となる世代の男女の意識改革が必要と思う	60歳代
自分ごととしてイメージできるような事例紹介。広報に概要だけ記載されていても、印象に残らない	40歳代
目標の明確化	30歳代
そもそも何をやっているのか良く分からない。HP開いても、添付の資料が冗長で読む気になれない。サマリーが冒頭にあるべき	60歳代
内容、メリットを教えてください。私は知りません	60歳代
まずは、参加してもらうよりも知ってもらうことが大事だと思う	60歳代
企業や学校に向けて日常の中で実践につながるようなワークショップの実施	40歳代

【2. 自由意見】

男女共同参画推進について

25件

内 容	年代
男女共同参画は是非、推進活動に力を入れてほしいです。	70歳代
男女共同参画センターが便利な場所にあるのにあまり知られていない。 性暴力被害について、相談しやすい窓口がほしい。	60歳代
「プロダクティブ・ヘルス/ライツ」を理解して考えるために船橋市役所のHPや広報に掲載してほしいです。（あきるの市のHPみたいに）詳しい内容知りませんでした。	50歳代
PR不足と企業と雇用者主向け講座の推進を望む。	60歳代
家事料理、DIYなどを個体差を感じさせない機器や便利グッズを使用した講習会があれば。	40歳代
男女共同参画推進の項目でセミナーについてのお尋ねがありましたが、会場型だけでなくウェビナー形式のものも検討されては如何かと思います。	50歳代
論理観・モラルの問題だと思うのですが、社会人がこういったことを学ばないといけいない世の中に疑問を持ちます。また、働いているとイベントに参加しづらいと思います。	50歳代
あらゆる市の取り組みや市政をより充実するために、男女共同参画推進が全ての肝になっていると考えます。船橋市にくらす市民は多様性にあふれているからです。その多様性ある街の事を決める市政の決定層には、同じく多様性があるべきだとだと思います。市民に男女共同参画を推進するために最も重要なのは、市政内の男女共同参画です。いまだに市の役員である教育長、局長、部長、所長などは男性ばかりです。役員層、決定層の男女比率をパリティにすることで、より多様なアイデアや意見が出て市政全体が充実したものになると思います。日本のジェンダーギャップ指数が先進国最下位の118位という現実に向き合い、市が積極的に代わり、市民と共に誰もが生きやすい社会の構築に注力していただきたいと思います。そんな市民が誇りに思える船橋市になることを期待しております。	40歳代
男女共同参画推進については、公的機関がいかなる講座や啓発を行ったとしても、元から興味のある人にしか届かず、実際に聞いてもらう必要がある人には届かない、たとえ情報が届いたとしても「なんか最近流行ってるけど知らない」みたいな反応になってしまうのだらうなというところが難しいところです。求める人には講座を、気にも留めていない人には制度や支援と通して雰囲気を作っていくことが必要なのではと感じます。（例えば今船橋市にはないですが、東京都のように産後ケアの施設の利用チケットを発行することで「産後は休まなければいけないのだ」という気づきになる、といったような……）	30歳代
男女平等を望む意見、それに対する対応は企業、行政様々なところで行われつつあるが、女性同士、男性同士同じ性別間でも生理や介護、育児、働き方などに対する認識に差があり、差別的とも捉えられる場面があるため、男女の差を無くすだけではなく多くの人に様々な意見が伝わり、譲歩できる場所を見つけられるような動きが必要と考える。	10～20歳代
男女平等と勘違いするのではなく、それぞれの身体状況、希望をかなえ、幸せを感じる生活の実現を目指すので良いかなと思う。 例えば、主婦が働かない理由も色々あり、働かないことで年金を支給するのは？という（3号に対して）議論もあり、男女共同参画とはなんなのかという意味を仕事と家庭の両立のためだけと考えてほしくない。センターもどのくらい利用しているのか、勉強不足でわかりません。	50歳代
男女共同参画推進は望む人に機会を与えるだけで推進する事ではないと考えます。	50歳代
男女平等が女性優遇に感じる人が多いので、本当の意味で男女平等公平を考えた方がいいと思います。男性社会の中に女性を入れても、ゆがみが生じるだけだと個人的に思います。	30歳代
若年世代では女尊男卑の風潮に反発して男女の分断がおきているとも仄聞しますのでバランスのとれた男女共同参画を推進してほしいです。	30歳代
元々それぞれの性が持っている特性を理解した上で社会全体が変わってこないとなかなか難しいように思う。仕事と家庭の両立も、ケースによっては同時でなくてもよいのではと思うが国の制度もあるので実現性は乏しい。また周りの話も聞くと、俗に言う昔の考えがまだまだ根強く、超高齢社会においては(理解を得られるのに)時間がかかりそうな印象。	30歳代

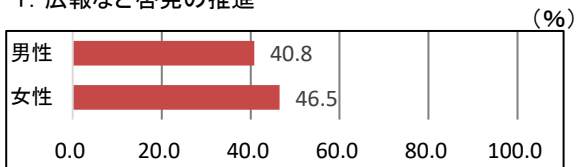
内 容	年代
私達の年代では、男女関係なく家事育児をすることがあたりまえになってきているように感じている。上の年代の方々が、そのあたりまえを共用し、仕事や家庭のバランスがとれるよう子育て世帯へ配慮してもらえるのが普通になるとよいなと思う。	30歳代
シニア以上の世代の男性の意識を変えることが必要だと思う。特にリタイアした男性がマンションや町会活動に参加する機会が増えているので、女性の立場にたった発言や行動が求められる。逆にシニア以上の女性は男性の前では、消極的な行動になる傾向があるように感じる。年齢差についても同様と感じる。	60歳代
男女が関係する政策は、本当の当事者でない人たちが考えているから、いつまでたってもいい方向に行かないと思う。家のことはほとんど妻任せの男性や、親が同居や近居で子育てや家事をやってもらっている女性とか、そんな人たちに何がわかるんだろうという思いしかない。	50歳代
男女共同参画推進については文字では目にしているけれど、だからといって内容が頭に残っていないと言うか、何があるとか全くわからなかったの、せっかくあるのに印象がないのは残念に思った。	40歳代
男女共同参画推進についてハラスメントをうけても改善されないイメージ。良さを知りたい。	50歳代
必要性や効果を感じられない。f プランを見たがゴールがあいまいである。数値目標がないことは一般企業ではありえないことである。税金の無駄遣いとは思えない。	40歳代
ワーク・ライフ・バランスとは ライフを最優先に考えるあまり、業務がおろそかになり他の社員の負担になっている本人に自覚なし。	50歳代
現在は女性が多く活躍している職業なので、ハラスメント以外の問題がない。	40歳代
企業主体で進めないと実現しないと思う。	60歳代
男女共同参画については内容をよく理解してませんでした。	70歳代

令和6年度 第3回市政モニターアンケート 男女共同参画に関する質問 <男女別結果> 概要

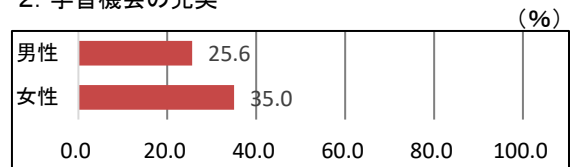
【問3】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答可)

「男女共同参画社会」を実現するために、市はどのようなことに力を入れていくべきか

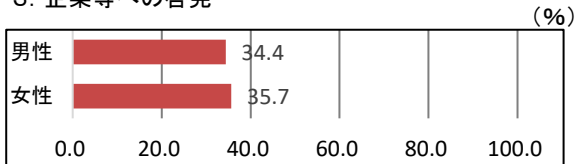
1. 広報など啓発の推進



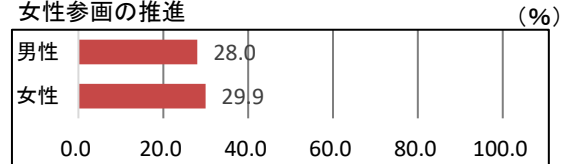
2. 学習機会の充実



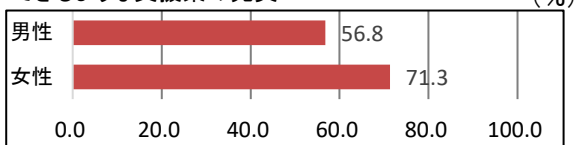
3. 企業等への啓発



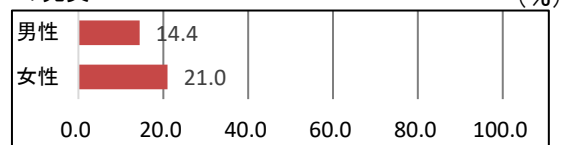
4. 政策における意思決定や方針決定の場への女性参画の推進



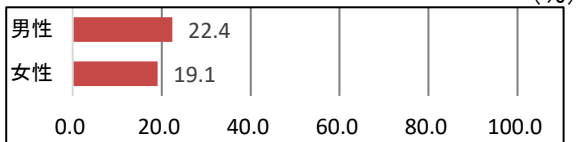
5. 男女が共に仕事と家庭生活・地域生活を両立できるような支援策の充実



6. 女性、男性に対する暴力をなくすための施策の充実



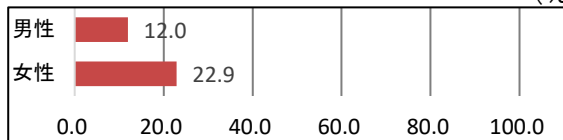
7. 男女共同参画社会を推進するための条例の制定



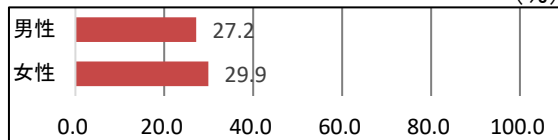
【問4】男女共同参画の推進のために様々な講座やイベントを実施しています。どのような内容の講座に興味がありますか。参加したいと思う講座をお選びください。(複数選択可)

どのような内容の講座に興味があるか

1. 企業における女性の活躍推進のための講座 (%)



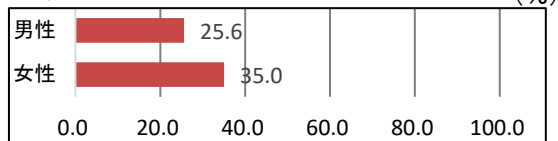
2. 各種法令・制度の周知のための講座 (%)



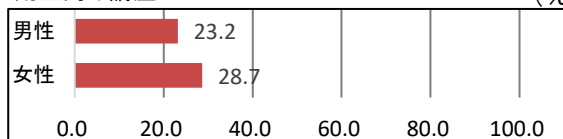
3. 男女の雇用機会均等を図るための企業・雇用主向け講座 (%)



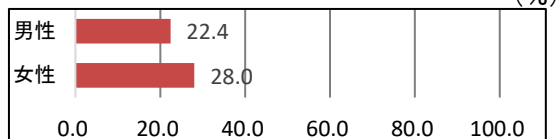
4. ワーク・ライフ・バランス推進のための市民向け講座 (%)



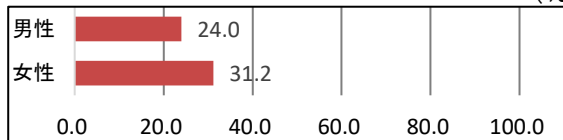
5. ワーク・ライフ・バランス推進のための企業・雇用主向け講座 (%)



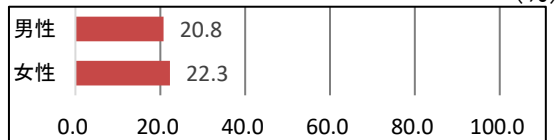
6. 男性の子育てへの参画促進のための講座 (%)



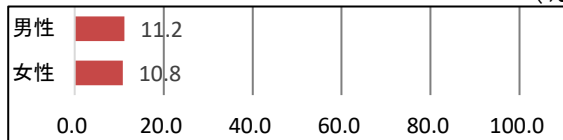
7. 男性の介護への参画促進のための講座 (%)



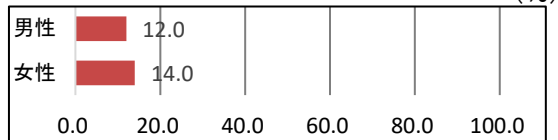
8. ハラスメント防止のための講座 (%)



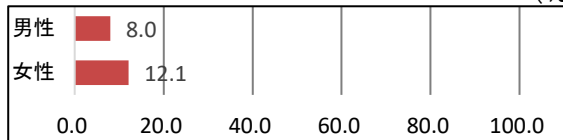
9. 性的少数者の理解のための講座 (%)



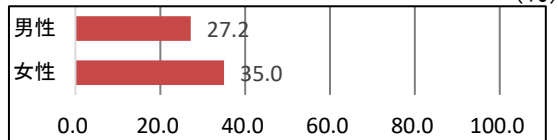
10. 男女共同参画の視点に立った防災講座 (%)



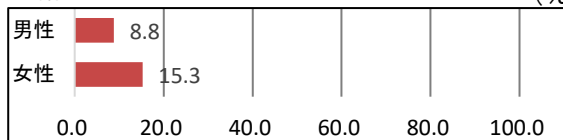
11. DVやデートDV防止のための講座 (%)



12. 地域における子育て支援のための講座 (%)



13. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理解のための講座 (%)



令和6年度 第3回市政モニターアンケート 男女共同参画に関する質問 <男女別結果> 詳細

【問1】男女共同参画の推進拠点である「男女共同参画センター」は、令和元年11月に船橋駅前フェイスビル5階に移転しました。移転前と後に、「男女共同参画センター」を利用したことはありますか。
(それぞれ1つ選択)

①移転前(宮本2丁目 船橋スカイビル)

移転前の男女共同参画センターを利用したことがあるか

性別	1	2	未回答
男性	0.8	98.4	0.8
女性	3.2	96.8	0.0
全体	2.1	97.5	0.4

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

②移転後(船橋駅前フェイスビル5階)

移転後の男女共同参画センターを利用したことがあるか

性別	1	2	未回答
男性	0.8	98.4	0.8
女性	3.8	96.2	0.0
全体	2.5	97.2	0.4

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

(問1で移転前と後に、「男女共同参画センター」を「1. 利用したことがある」と回答した方)

【問2】男女共同参画センターの事業で参加(利用)したことがあるものを全て選んでください。
(複数回答可)

男女共同参画センターの事業で参加したことがあるもの

性別	1	2	3	4	5	6	7	8
男性	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	36.4	18.2
全体	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	30.8	15.4

1. 女性の生き方相談・男性の生き方相談
2. 女性のための法律相談
3. DVDミニ鑑賞会
4. より添い支援サロン(交流サロン・ゆるっとサロン)
5. 一時保育付き読書タイム
6. 男女共同参画センター所蔵図書の閲覧・貸出
7. 各種講座
8. その他

【問3】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答可)

「男女共同参画社会」を実現するために、市はどのようなことに力を入れていくべきか

性別	1	2	3	4	5	6	7	8
男性	40.8	25.6	34.4	28.0	56.8	14.4	22.4	5.6
女性	46.5	35.0	35.7	29.9	71.3	21.0	19.1	4.5
全体	44.0	30.9	35.1	29.1	64.9	18.1	20.6	5.0

1. 広報など啓発の推進
2. 学習機会の充実
3. 企業等への啓発
4. 政策における意思決定や方針決定の場への女性参画の推進
5. 男女が共に仕事と家庭生活・地域生活を両立できるような支援策の充実
6. 女性、男性に対する暴力をなくすための施策の充実
7. 男女共同参画社会を推進するための条例の制定
8. その他

【問4】男女共同参画の推進のために様々な講座やイベントを実施しています。どのような内容の講座に興味がありますか。参加したいと思う講座をお選びください。(複数選択可)

どのような内容の講座に興味があるか

(%)

性別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
男性	12.0	27.2	22.4	25.6	23.2	22.4	24.0	20.8	11.2	12.0	8.0	27.2	8.8	15.2
女性	22.9	29.9	22.9	35.0	28.7	28.0	31.2	22.3	10.8	14.0	12.1	35.0	15.3	8.9
全体	18.1	28.7	22.7	30.9	26.2	25.5	28.0	21.6	11.0	13.1	10.3	31.6	12.4	11.7

1. 企業における女性の活躍推進のための講座
2. 各種法令・制度の周知のための講座
3. 男女の雇用機会均等を図るための企業・雇用主向け講座
4. ワーク・ライフ・バランス推進のための市民向け講座
5. ワーク・ライフ・バランス推進のための企業・雇用主向け講座
6. 男性の子育てへの参画促進のための講座
7. 男性の介護への参画促進のための講座
8. ハラスメント防止のための講座
9. 性的少数者の理解のための講座
10. 男女共同参画の視点に立った防災講座
11. DVやデートDV防止のための講座
12. 地域における子育て支援のための講座
13. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理解のための講座
14. 特になし

【問5-1】講座に参加する場合、平日で参加しやすい時間帯をお選びください。(複数回答可)

平日で参加しやすい時間帯

(%)

性別	1	2	3	4
男性	16.8	13.6	21.6	55.2
女性	35.7	22.9	19.1	38.2
全体	27.3	18.8	20.2	45.7

1. 平日午前(10～12時頃)
2. 平日午後(13～17時頃)
3. 平日夜間(18～20時頃)
4. 平日は参加が難しい

【問5-2】講座に参加する場合、土曜日で参加しやすい時間帯をお選びください。

土曜日で参加しやすい時間帯

(%)

性別	1	2	3	4
男性	50.4	43.2	13.6	12.0
女性	49.0	37.6	9.6	16.6
全体	49.6	40.1	11.3	14.5

1. 土曜日午前(10～12時頃)
2. 土曜日午後(13～17時頃)
3. 土曜日夜間(18～20時頃)
4. 土曜日は参加が難しい

【問5-3】講座に参加する場合、日曜日で参加しやすい時間帯をお選びください。(複数回答可)

日曜日で参加しやすい時間帯

(%)

性別	1	2	3	4
男性	52.8	39.2	8.0	14.4
女性	51.0	34.4	6.4	20.4
全体	51.8	36.5	7.1	17.7

1. 日曜日午前(10～12時頃)
2. 日曜日午後(13～17時頃)
3. 日曜日夜間(18～20時頃)
4. 日曜日は参加が難しい